

<注意>

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
本資料に記載されている業績の予想等の将来に関する記述は、  
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定  
の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨の  
ものではありません。  
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2020年12月期 第2四半期決算短信補足資料

2020年8月14日 (東証ジャスダック グロース : 4579)

- |                              |                                     |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1 : 2020年度上半期業績の概要と通期業績見直し   | 8 : ヒト用医薬品の状況                       |
| 2 : 2020年度上半期の事業ハイライト        | 9 : 研究開発動向                          |
| 3 : 2020年度通期業績予想の修正          | 10 : tegoprazan : グローバル開発(1)ライセンス動向 |
| 4 : 2020年度~2022年度中期経営計画の一部修正 | 11 : tegoprazan : グローバル開発(2)ロードマップ  |
| 5 : 中期経営計画「Gaia2021」数値目標の修正  | 12 : タミバロテン : ロードマップ                |
| 6 : 事業収益の予想推移                |                                     |
| 7 : ペット用医薬品の状況               |                                     |

# 1) 2020年度上半期業績の概要と通期業績見通し

【連結】 (単位; 百万円)	2019年度 上半期	2020年度 上半期	増減率
事業収益	545	372	-31.7%
事業費用	848	776	-8.5%
(内) 人件費	308	331	7.5%
(内) 研究開発費	430	111	-74.1%
営業利益又は 営業損失 (△)	△302	△403	-
経常利益又は 経常損失 (△)	△307	△402	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	△310	△459	-

2019年度 通期
1,702
1,718
616
221
△15
21
5

2020年度 期初予想	2020年度 修正予想	増減率
2,129	1,579	-25.8%
2,059	1,840	-10.6%
705	673	-4.5%
418	379	-9.3%
70	△260	-
85	△256	-
13	△333	-

## 2) 2020年度上半期の事業ハイライト

### COVID-19の影響により前年同期比で事業収益が減少

- ✓ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「COVID-19」）の感染拡大
  - 物流・製品供給に一時的な影響
  - 在庫調整
  - 導出等の事業開発活動で支障

### 上市品の動向

GALLIPRANT®

- ✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響  
第2四半期は回復基調、売上は伸び悩む
- ✓ 欧州等 : 堅調に推移

ENTYCE®

- ✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響  
第2四半期は回復基調

K-CAB®

- ✓ 韓国 : 院外処方伸びも、  
一時的な物流混乱や在庫調整が影響

### 3) 2020年度通期業績予想の修正

#### COVID-19の影響を踏まえ通期業績予想を下方修正

- ✓ COVID-19による業績へのマイナス影響を反映：事業収益を下方修正
- ✓ 下半期より上市品が回復すると想定
- ✓ 事業費用も期初予想から減少

#### 上市品の動向

GALLIPRANT®

ペット用医薬品については下半期の回復に期待  
エランコ社は3、4月を底にV字回復と説明

ENTYCE®

K-CAB®

COVID-19の影響、在庫調整等により上半期は  
一定の停滞があったが、下半期は大きな伸びを  
期待

## 4) 2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

### COVID-19の影響を踏まえ販売ロイヤルティ収入を下方修正

#### <事業収益>

- ✓ COVID-19による業績へのマイナス影響を反映：
  - 2020年度上半期のペット用医薬品の売上を踏まえ、3カ年計画に反映
- ✓ 導出済みプログラムの開発：概ね計画通り
  - tegoprazan：グローバル開発が進展
  - イオンチャネル創薬：導出先における臨床開発等が順調
  - タミバロテン：提携先Syros社の臨床開発は順調

#### <事業費用>

- ✓ 事業原価：期初予想から減額
  - ・ 販売ロイヤルティ収入の修正に伴う支払ロイヤルティ減少

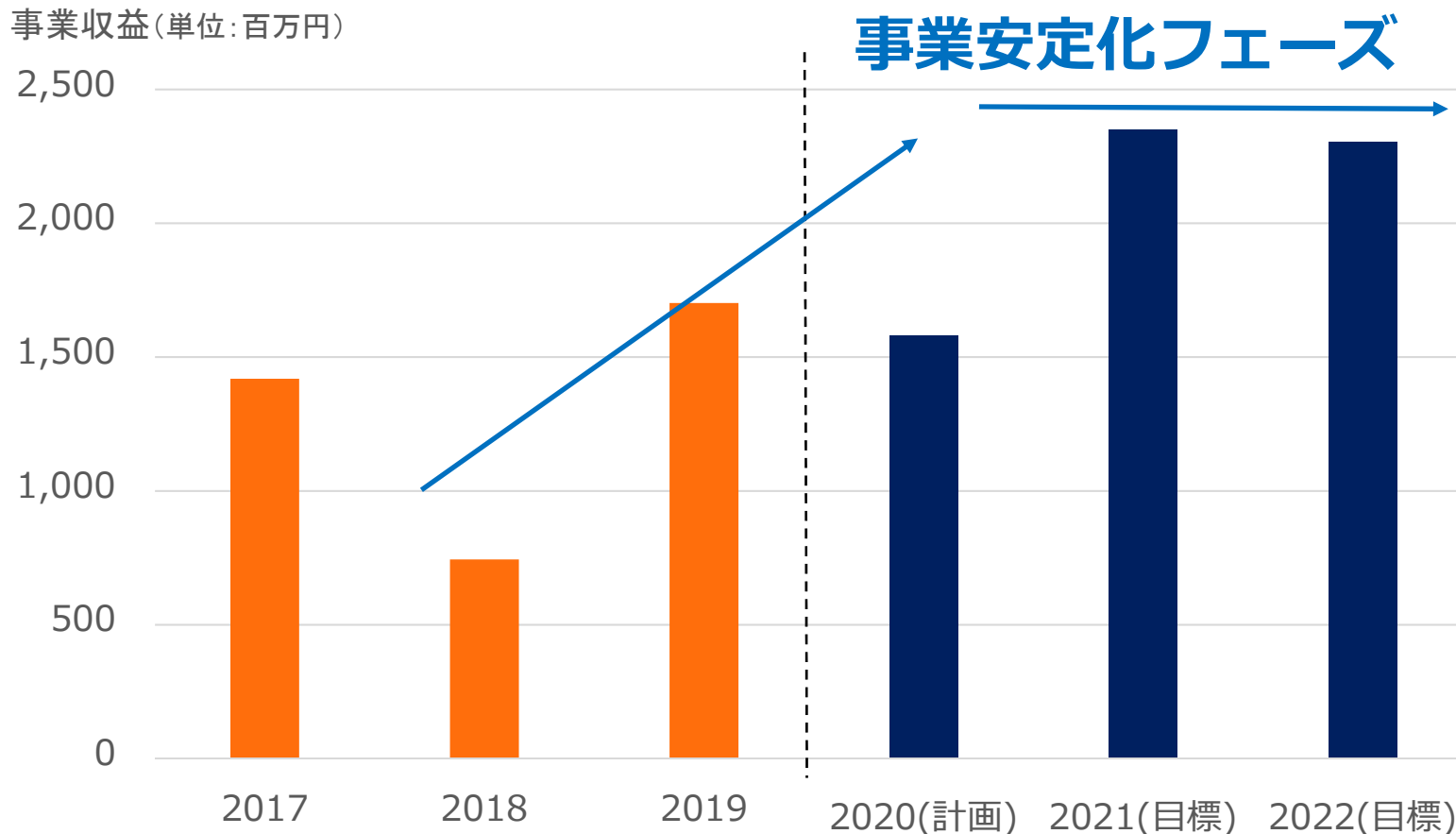
## 5) 中期経営計画「Gaia2021」：数値目標の修正

【連結】 (単位；百万円)	新予想 (単位：百万円)						
	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (期初計画)	2020年12月期 (新計画)	2021年12月期 (従来目標)	2021年12月期 (新目標)	2022年12月期 (従来目標)	2022年12月期 (新目標)
<b>事業収益</b>	1,702	<u>2,129</u>	<u>1,579</u>	<u>2,543</u>	<u>2,349</u>	<u>2,535</u>	<u>2,305</u>
<b>事業費用</b>	1,718	<u>2,059</u>	<u>1,840</u>	<u>2,209</u>	<u>2,143</u>	<u>2,168</u>	<u>2,060</u>
(内) 人件費	616	<u>705</u>	<u>673</u>	<u>770</u>	770	<u>789</u>	789
(内) 研究開発費	221	<u>396</u>	<u>379</u>	<u>358</u>	358	<u>360</u>	360
<b>営業利益又は 営業損失 (△)</b>	△15	<u>70</u>	<u>△260</u>	<u>334</u>	<u>205</u>	<u>367</u>	<u>244</u>
<b>経常利益又は 経常損失 (△)</b>	21	<u>85</u>	<u>△256</u>	<u>362</u>	<u>233</u>	<u>384</u>	<u>261</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	5	<u>13</u>	<u>△333</u>	<u>247</u>	<u>118</u>	<u>322</u>	<u>200</u>

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 6) 事業収益の予想推移

事業収益(単位:百万円)



**ロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行は着々と進展**

## 7) ペット用医薬品の状況



### 投資家向けウェブキャストでの発言

### Jeffrey Simmons (ジェフリー・シモンズ) 最高経営責任者

I think the one thing I would say is we are coming out of a V-shaped recovery in Companion Animals.

--I think there's still a lot of dynamics to look at relative to international, the retail that was just brought up. So I think we're going to need the second half to see what trends stick and but I would say this, a few things. As I mentioned, we do not see the pandemic impacting our overall parasiticide and pain business. And the Companion Animals has recovered, we believe, from the setback that we saw in March and April

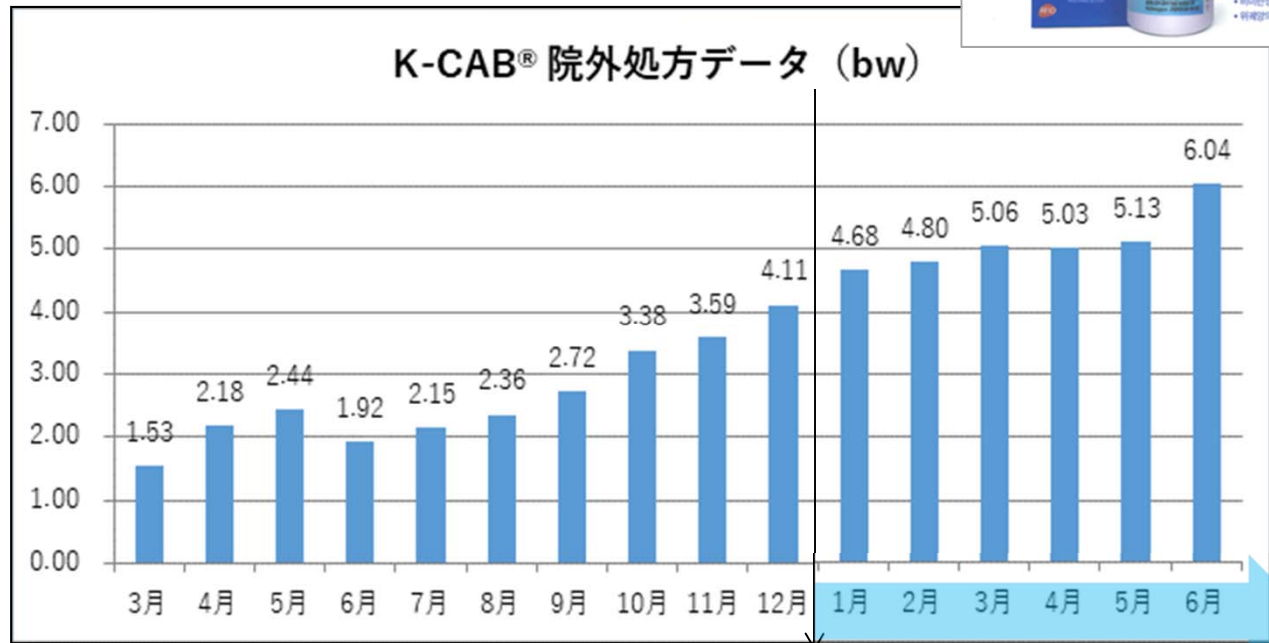
- ・「コンパニオンアニマルビジネスはV字回復している。  
—〈中略〉— 3月と4月にみられた影響からリカバーしたと確信している」



## 8) ヒト用医薬品の状況

### 胃食道逆流症治療薬「K-CAB®」

韓国における院外処方は引き続き好調



出典：UBISTデータ

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 9) 研究開発動向



### 代表取締役社長・谷直樹

#### ■ tegoprazan日本

- ・ H K イノエン社（韓国）と日本での具体的な開発協力のあり方について協議を行っております。
- ・ 今秋にはめどを付けたいと考えております。

### 創薬研究部門長・渡邊修造（取締役常務執行役員）

#### ■ イオンチャネル創薬

- ・ 導出済みプログラム— 3つのプログラムそれぞれが、導出先において順調に開発が進んでおります。
- ・ 共同研究プログラム— 両社協力のもとに順調に創薬研究が進捗しております。
- ・ 自社プログラム—— 前臨床前にもかかわらず、医薬品企業等から共同研究/導入の引き合いがあります。

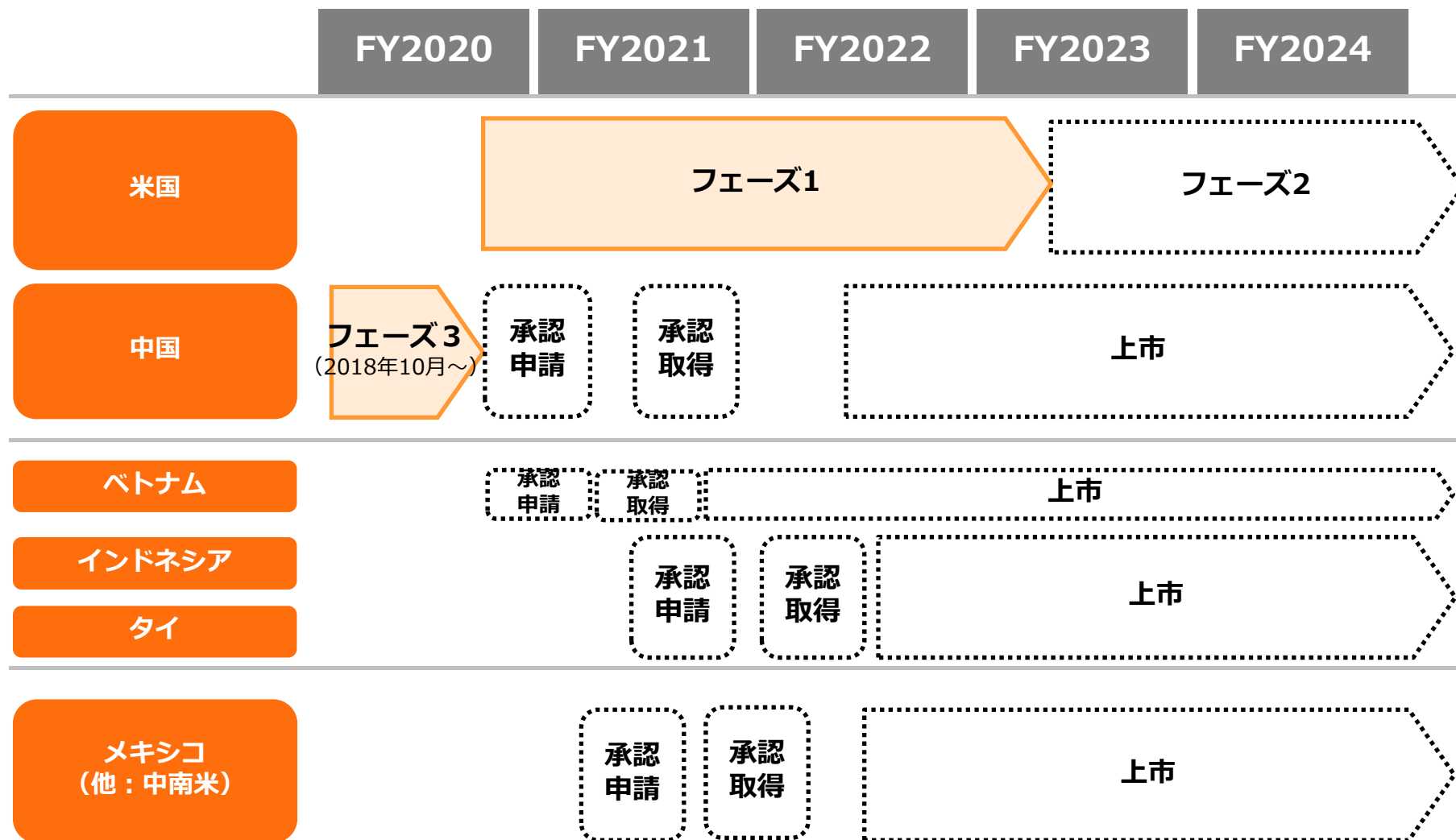
## 10) tegoprazan : グローバル開発(1) ライセンス動向

2020年6月 : HKイノエン社に日本以外の未許諾国・地域を追加許諾



ご注意 : 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

# 10) tegoprazan : グローバル開発(2) ロードマップ

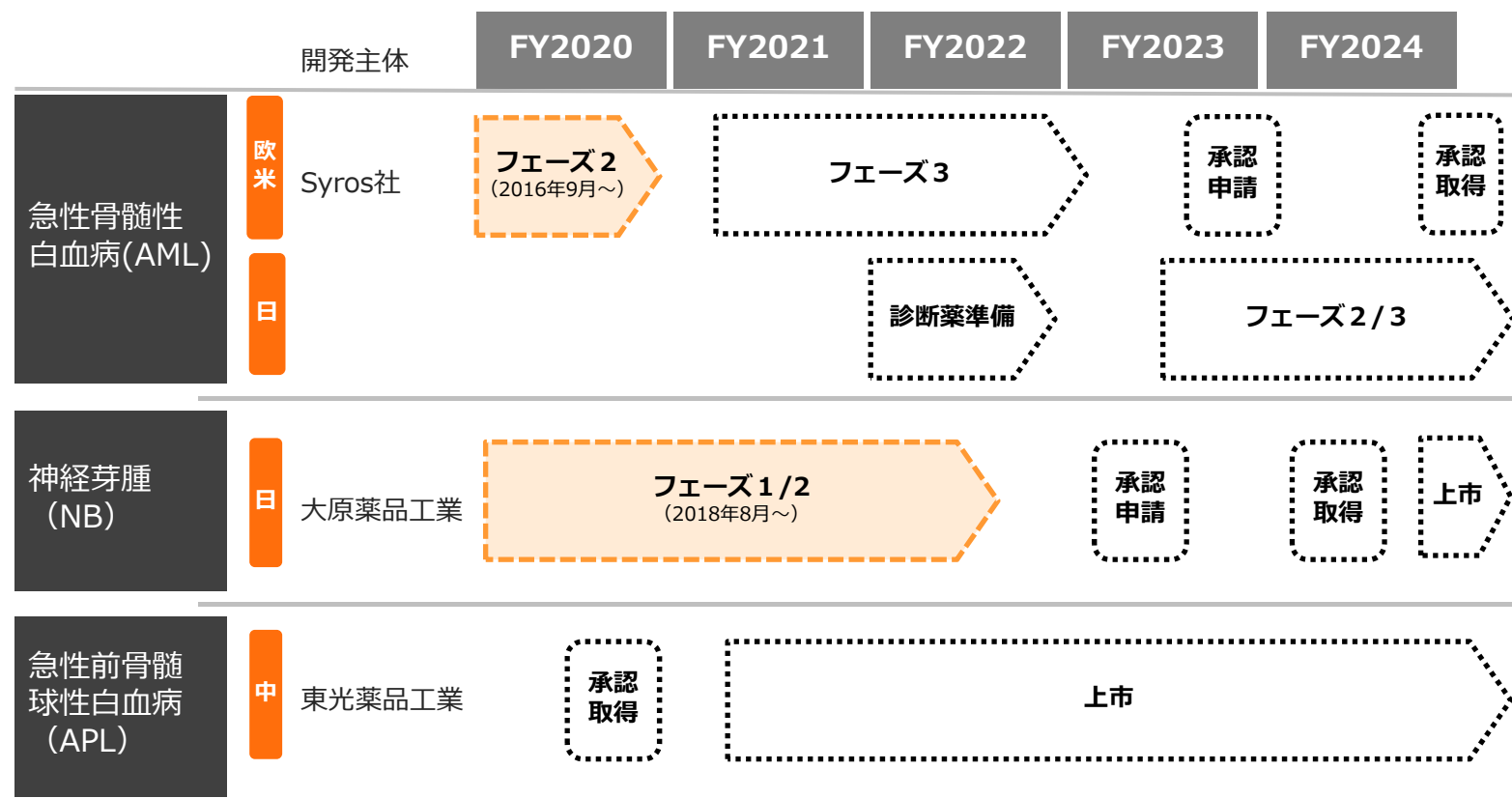


ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 11) イオンチャネル創薬

会社名	内容
E A ファーマ株式会社	消化器領域における特定のイオンチャネル 現在、同社にて開発中
マルホ株式会社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 現在、同社にて開発中
旭化成ファーマ株式会社	P2X7受容体拮抗薬 (RQ-00466479、AKP-23494954) 現在、同社にて開発中
あすか製薬株式会社	特定のイオンチャネルを標的とした共同研究

## 12) タミバロテン：ロードマップ



## 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia  
innovators for life

お問合せ先

当社HPからお願いいたします。

<https://www.raqualia.co.jp/contact/>

RaQualia Pharma Inc.